

=信頼のネットワーク、JAバンク=

JJAちちぶの現況

上半期ディスクロージャー誌

2025

令和7年4月1日～令和7年9月30日

目次

- P.2 組合員と地域のみなさまとともに
- P.3 理念・方針、事業紹介 P.4 経営状況
- P.7 組合員の皆さまや地域のお客さまとのつながり
- P.8 セーフティネットの仕組み、JA店舗紹介



組合員と地域のみなさまとともに！！

JAちちぶは地域社会の一員として、地域のみなさまとともに歩んで行きます。

JAちちぶは、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町の1市4町を区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

JAちちぶでは、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉として、資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

JAちちぶは、組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域の皆さまに様々な事業機能やサービスを提供することにより、農業や地域経済社会の健全な発展に寄与することで社会的・公共的使命を果たしてまいります。また、JAちちぶは、地域社会の一員としての責任を自覚し、地域の各種行事や催事等への参画やJAの社会・文化的活動をとおして、少しでも地域社会の発展や活性化のお役に立ちたいと思っております。

今後とも協同組合運動の理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」を念頭におき、より良き地域社会人として、組合員の皆さまをはじめ地域社会の皆さまと一緒に歩んで行きたいと思っております。

トピックス



4月13日、ウィークエンド農業塾を開講。



4月22日、JAちちぶ園芸部会による表敬訪問。



5月7日～6月2日、委託栽培のニンニクを全量出荷。



7月28日～29日、夏秋ナスの現地検討会を開催。



8月1日～2日、第28回JAちちぶ農機展示会を開催。



8月25日、第10回ちちぶ山ルビー品評会の開催。



9月24日、第2回カボス共進会の開催。

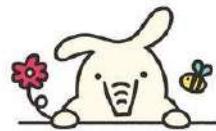
地域貢献活動



6月22日、アグリホール皆野で人形供養祭を開催。



8月14日、地域コミュニティ活動の一環で、秩父音頭まつりに参加。



©よりぞう

そのほかに・・・

- ①地域への活動として、災害対策要綱等の作成・体制整備と、行政等と災害協定書を締結。
- ②組合員等への活動として、鳥獣害対策や農薬空容器などの処理業務等により、地域環境の保全に努めます。
- ③友の会の活動や若年層とのふれあいとして、年金友の会のゲートボール大会、3友の会（年金・パンク・共済）のペタンク・ゴルフ・グラウンドゴルフ大会、親睦旅行およびJA共済後援による、地域の小学生を対象としたサッカー大会を開催しております。

JA自己改革

農業所得増大・地域活性化

全農青果ステーションとの契約栽培に取組み、ニンニクとつるむらさきの販売を実施しました。また、秩父の特産品PRを含め、県内JA直売所へ乾燥しいたけ、こんにゃく生玉、蜂屋柿の販売を行いました。また、農・商・工連携を図り、酒造米「山田錦」・ウイスキー用二条大麦「ゴールデンメロン」・味噌用六条大麦「万力」の出荷を行いました。

6次産業の取組み

JAちちぶ女性加工部が女性部オリジナル味噌をはじめ、各種加工品を道の駅や各直売所で販売しました。

生産・販売力の強化

観光農業の強化に取り組み、西武鉄道、秩父鉄道と連携し、いちご、ブルーベリー、ぶどう等のPR活動を実施しました。

多様な担い手の育成

新たに農業に取り組みたい方や農業経験の浅い方などを中心に、月1回のウィークエンド農業塾の開催。関係機関と連携し、新規就農者の育成（担い手農業塾）に取組みました。

J A ちちぶ 理念・方針

経営理念

豊かな自然を活かした地域社会との共生による未来農業をめざして

経営方針

- 1.持続発展する地域農業の実現
- 2.豊かで暮らしやすい地域社会の実現
- 3.未来へつなぐJA経営基盤の確立

取組方針

- 1.組合員一人ひとりの願いに耳を傾ける
- 2.事業目標達成に向けたコスト管理意識の強化
- 3.資格取得によるスキルアップ
- 4.明るく風通しの良い職場づくり

J A ちちぶの事業紹介

信用事業

貯金、融資、為替などの業務を行っております。

私どもは、組合員皆様と地域の皆様に信頼されるサービスのご提供と、期待や信頼にお応えする地域金融機関を目指し、「JAバンク」と称しております。

このJAバンクは、JA・県信連・農林中金という三段階の組織が密接に結びつき、JAバンクグループとして大きな力を発揮しています。

共済事業

「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障を提供しています。組合員・利用者をはじめ、地域の皆さまの暮らしのパートナーとしての総合保障を通じて、一人ひとりの人生設計にお応えできる安心を生涯にわたりお届けします。また、加入後の内容説明や保障点検を「あんしんチェック」として、実施しています。

経済・販売事業

農林畜産物を生産するために必要な肥料・農薬・飼料などの生産資材や、日々の食卓に欠かせない主食（お米）をはじめとする、生活に必要な購買品の良品・適価をモットーに、組合員の皆様と地域の皆様に提供しております。また、地域の組合員農家の方々が生産した、農産物を市場内外への出荷やJA直売所で販売をしております。その他、葬儀等の取り扱いを行っております。

営農・生活・相談事業

組合員の皆様と共に歩む営農指導（地域農業振興活動の支援・農業経営支援などの農業・農家のための活動）や組合員の皆様や地域の皆様と共に歩む生活指導（共同購入・地産地消などの生活文化活動）はもとより、税務・年金・住宅ローン相談の窓口開設などの総合的な相談機能により、暮らしの全般にわたったサポートをしております。

令和7年9月期の経営状況のお知らせ

JAちちぶは、地域の多くのみなさまよりご信頼をいただき、貯金残高は1,108億円となりました。また、貸出残高につきましては153億円となり、皆さまからお預かりした大切な財産を安全性と流動性を重視して資金運用しております。（令和7年9月末時点）

貯金・貸出金

（単位:百万円）

種類	R6.9月期	R7.3月期	R7.9月期
貯金	112,596	110,790	110,866
貸出金	15,123	15,382	15,328
預け金	80,371	78,810	78,993
有価証券	15,650	14,924	14,766

注)貸出金は、貸付留保金を控除しております。

その他

(1.60%)

有価証券

(13.32%)

預け金

(71.25%)

運用資産構成

（令和7年9月期）

貸出金
(13.83%)

JAちちぶでは、貸出金以外にも預け金や有価証券で運用し、いつでも使える安全な余裕資金を保有しております、資金繰りは安定しております。

貯金内訳

（単位:百万円）

種類	R7.3月期	R7.9月期
流動性貯金	69,528	70,181
定期性貯金	41,252	40,648
その他の貯金	10	37
合計	110,790	110,866

（注）
流動性貯金とは、
＝当座貯金＋普通貯金＋貯蓄貯金

定期性貯金とは、
＝定期貯金＋積立定期貯金＋定期積金

その他の貯金とは、
＝別段貯金＋納税準備貯金のことです。

《ご参考:支店別貯金残高》

（単位:百万円）

本・支店	R7.3月期	R7.9月期	本・支店	R7.3月期	R7.9月期
本店営業課	41,485	41,349	荒川支店	14,000	14,087
皆野支店	28,790	28,868			
小鹿野支店	26,515	26,562	合計	110,790	110,866

《ご参考:保有有価証券の時価情報》 有価証券の時価及び評価差額に関する事項は次のとおりです。

1 売買目的有価証券 当JAは、令和7年3月期及び令和7年9月期における売買目的有価証券の残高はありません。

2 満期保有目的の債券で時価のあるもの (単位:百万円)

時価が貸借対照表計上額を	種類	R7.3月期			R7.9月期		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
超えるもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	299	301	1	493	494	1
	政府保証債	—	—	—	—	—	—
	小計	299	301	1	493	494	1
超えないもの	国債	215	189	△25	213	184	△29
	地方債	7,062	6,570	△491	7,363	6,818	△544
	政府保証債	100	82	△17	100	80	△19
	小計	7,377	6,842	△534	7,676	7,082	△594
合計		7,677	7,144	△533	8,170	7,577	△593

注1 時価は、9月末、期末日における市場価格等に基づいております。

注2 百万円未満は切り捨てし、残高がある場合は「0」、残高がない場合は「—」で表示しております。

3 その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

時価が貸借対照表計上額を	種類	R7.3月期			R7.9月期		
		取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額
超えるもの	国債	—	—	—	—	—	—
	株式	0	0	0	—	—	—
	小計	0	0	0	—	—	—
超えないもの	国債	7,823	6,814	△1,009	7,254	6,170	△1,083
	地方債	519	432	△87	518	425	△92
	株式	—	—	—	—	—	—
	小計	8,343	7,246	△1,096	7,772	6,595	△1,176
合計		8,343	7,247	△1,095	7,772	6,595	△1,176

注1 時価は、9月末、期末日における市場価格等に基づいております。

注2 百万円未満は切り捨てし、残高がある場合は「0」、残高がない場合は「—」で表示しております。

4 金銭の信託 当JAは、運用目的・満期保有目的・その他の金銭の信託にかかる契約はありません。

《ご参考:貸出金の内訳》

1 貸出金の科目別の残高

(単位:百万円)

種類	R7.3月期	R7.9月期	増減
手形貸付金	—	—	—
証書貸付金	15,530	15,443	△86
当座貸越	80	82	1
金融機関貸付	—	—	—

(注)貸付留保金を控除しておりません。

《ご参考:収益の状況等》

(単位:百万円)

区分	R6.9月期	R7.9月期	増減額
事業総利益	875	955	80
うち信用事業	274	315	41
事業管理費	830	857	27
事業利益	44	98	53
経常利益	121	169	47
当期剰余金	100	123	23

2 業種(職種)別の貸出金残高と構成比 (貸付留保金を含みます。)

(単位:百万円、%)

種類	R7.3月期		R7.9月期		増減	種類	R7.3月期		R7.9月期		増減
	残高	構成比	残高	構成比			残高	構成比	残高	構成比	
農業	505	3.2	476	3.0	△28	卸売・小売業	457	2.9	446	2.8	△11
林業	68	0.4	68	0.4	0	金融・保険業	569	3.7	588	3.7	19
鉱業	277	1.8	270	1.7	△7	不動産業	2	0.0	4	0.0	1
建設業	1,247	8.0	1,226	7.8	△21	サービス業	1,948	12.5	1,985	12.7	37
製造業	3,801	24.4	3,882	25.0	80	地方公共団体	3,643	23.3	3,431	22.1	△211
電気・ガス・熱供給・水道	224	1.4	226	1.4	1	その他	1,630	10.5	1,676	10.7	46
運輸業	1,233	7.9	1,241	7.9	7	合計	15,610	100.0	15,526	100.0	△84

自己資本比率

(単位:百万円)

自己資本比率とは、金融機関の経営健全性を示すパロメーター

J A ちちぶは、国内基準(4%)の4倍以上で、国際基準(8%)を上回る
19.84%の自己資本比率と14億円の内部留保(特別積立金)で、安定した経営を維持します。

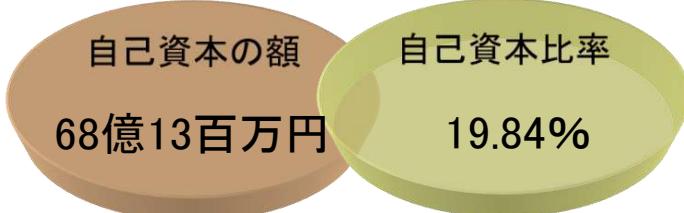
(単位:百万円、%)

	R6.9月期	R7.9月期
自己資本の額	6,745	6,813
自己資本比率	18.39%	19.84%

信用リスク・アセットの額はR7.9月期33,575百万円となります。また、オペレーション・リスク相当額のR7.3月期は、59百万円となります。

R7.9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(H18.3.28 金融庁・農林水産省告示第2号)に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーション・リスク相当額はR7.3月期の係数を用いて算出しています。

R7.9月期の自己資本の状況



自己資本

○自己資本比率=総資産(リスク・アセット)+オペレーション・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額

○リスク・アセット:資産のリスクに応じて算出した資産総額

不良債権の状況

J A では、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

(単位:百万円)

債権区分と保全状況		R7.3月期	R7.9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		29	34
危険債権		143	157
要管理債権		–	–
小計(A)		172	192
保全状況	上記債権の担保・保証の額(B)	145	180
	上記債権に対する貸倒引当金の額(C)	5	7
	上記債権に対する保全率(B+C)/(A)	87.41%	97.85%
正常債権		15,442	15,339
合計		15,615	15,531

注)R7.9月期の係数は、9月末の仮決算において3月期決算と同一に当JAの資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。

【用語の説明】

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権**…破産・会社更生・民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 危険債権**…債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 要管理債権**…(1)三月以上延滞債権=元金または利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として三月以上延滞している貸出金のうち、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権を除いた貸出債権です。
(2)貸出条件緩和債権=経済的困難に陥った債務者又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者等に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権のうち、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権を除いた貸出債権です。

組合員の皆さまや地域のお客さまとのつながり

JAちちぶは、組合員の皆さまや地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせて頂いています。

組合員の皆さま・地域のお客さま
うち組合員数 14,432人

※JAにおける「組合員」とは?
地区内にお住まいや勤務の方は組合員になる資格があります。また、組合員以外のお客さまへも一定の範囲内でJAのサービスをご利用頂けますので、お気軽にお声掛けください。

地域からの資金調達の状況

当JAでは、お客さまのニーズに応えるため、懸賞品付定期貯金や公的年金お受取りの方を対象とした優遇金利定期貯金など特徴ある商品をご用意していますが、今後も新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

- ・サマーキャンペーン
- ・年金受取りキャンペーンなど

貯金・積金残高
1,108億 66百万円

出資金 21億58百万円
貯金・積金 1,108億66百万円

文化的・社会的貢献に関する事項（地域との繋がり）

(1)「地域との共生」を基本理念に小さな活動からを合言葉に、福祉、スポーツや地域活動等の活動を通じて文化的・社会的貢献活動を展開しています。

(2)利用者ネットワークとして、各種友の会や部会を設置し、さまざまな活動を展開しています。

(3) JAの広報誌「やまなみ」やホームページを通じて情報提供やご意見を承っていますのでご利用ください。

<https://www.ja-chichibu.jp/>

JAちちぶ

常勤役員数	4名
職員数	130名
店舗数	
本支店	4店
ふれあいプラザ	3店
ATM設置台数	14台
農産物直売所	5店
ガソリンスタンド	4店



地域への資金供給の状況 (貸出金に関する事項)

お客さまからお預かりした大切な貯金積金を、資金を必要とされている組合員、地域にお住まいの方や事業者の方々へ資金を適正に供給し、農業や地域経済の活性化に寄与しています。

貸出金残高	155億 26百万円
組合員	120億 70百万円
地公体等	34億 31百万円
その他	23百万円

- * 制度融資の実績
農業近代化資金
2億 64百万円
- * 農業支援融資商品
営農ローン/JA農機ハウスローン/
担い手応援ローンetc.
- * 個人向けローン、事業者向け融資
についても各種ご用意しています。

貸出金以外の運用に関する事項

安全性と流動性を重視した安定収益のためJA県信連預金や国債等の有価証券で運用しています。

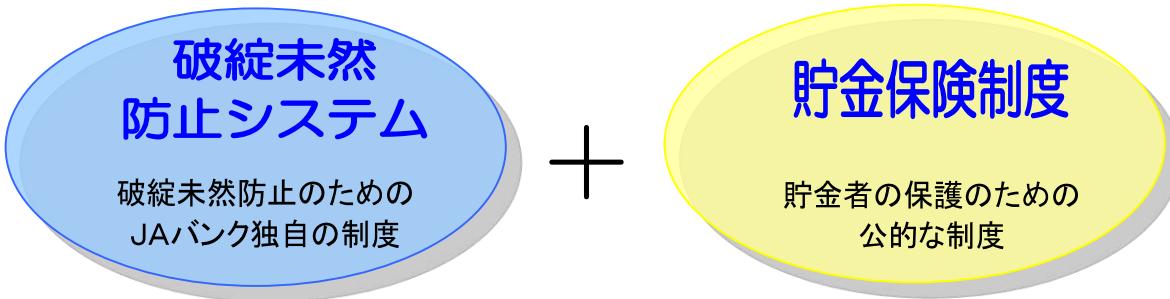
JA県信連等預金残高	789億 93百万円
有価証券残高	147億 66百万円

組合員の皆さま・地域のお客さま

※計数は、令和7年9月末現在です。なお、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
※記載内容、商品についてご質問がございましたら、お気軽にお声掛けください。

JAバンク・セーフティーネットの仕組み

JAバンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティーネット」を構築し、組合員・利用者のみなさまに、より一層の「安心」をお届けしています。



身近で便利 JA店舗

本 店		秩父市太田2627-1	63-1500
本店営業課		秩父市上野町29-20	22-2355
横瀬ふれあいプラザ		秩父郡横瀬町大字横瀬4294-3	22-0035
皆野支店		秩父郡皆野町大字皆野527-1	62-1240
長瀬ふれあいプラザ		秩父郡長瀬町大字中野上385	66-3221
吉田ふれあいプラザ		秩父市下吉田6585-2	77-1511
小鹿野支店		秩父郡小鹿野町小鹿野2697-9	75-2430
荒川支店		秩父市荒川上田野1432-1	54-1250